令和５年度（２０２３年度）　学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	工業	科目	課題研究	単位数	３	学年	３	科	機械科

１、科目の目標

観点	(1) 知識・技能	(2)思考力・判断力・表現力等	(3)学びに向かう力，人間性等
科目の目標	工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。	工業に関する課題を発見し，工業に携わる者として独創的に解決策を探究し，科学的な根拠に基づき創造的に解決する力を養う。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び，工業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

２、使用教科書・副教材

「機械実習１」「機械実習２」実教出版、　自作教材プリント

３、学習の計画

		学習の内容	考査範囲	予定時数
一学期	５月 ６月	過去のテーマを参考にしながらテーマの決定、グループ分け グループごと下調べ、進行計画の作成	考査は行わない	３０
二学期	７月 ８月 ９月 １０月 １１月	グループごとの作業		４２
三学期	１２月 １月 ２月 ３月	まとめ 課題研究発表会の準備とレポートの作成		３３

４、評価の方法

観点	(1) 知識・技能	(2)思考力・判断力・表現力等	(3)学びに向かう力，人間性等
評価の趣旨	ものづくりをするにあたり、既存の知識や、新たに修得した知識を用いて、適切な作業工程や加工工程を考えることで、ものづくりを学び、技術者としての技能を修得することができる。	個人で考えた問題点を班員で共有し、グループ討議を用いて研究テーマを設定し、その解決方法を議論することができる。また、グループ討議では、言語活動を通じて、それぞれが学習してきた知識を用いて、問題に対して独創的な解決方法を考えることができる。	活動を通して、目標達成に対する問題が発生した際に、自ら考え、問題解決に向けて行動することができる。また、班員と積極的に対話をすることで、グループ全体の進捗状況を把握し、目標達成に向けそれぞれが行動することができる。
評価区分	Ａ：「充分満足できる」状況　　Ｂ：「おおむね満足できる」状況　　Ｃ：「努力を要する」状況		

５、学習にあたっての注意とアドバイス

自分のやりたいこと、能力を見極める。
各自の得意分野を考え、グループ内での役割分担をしっかりとする。
自分から積極的・主体的に学習活動を行う。
発表の仕方（プレゼンテーション）を工夫する。